

作品について

松嶋励路

今回の展示は、大サイズの ”COLOR” 1点と小サイズの ”Color” 連作 6点、および ”Still Life” 連作 6点の合計 13点で構成されています。

”COLOR” は 20年間、取り組んでいる連作です。油絵具を重層させていくことで成立する作品で、具体的なモチーフはありません。油彩は 3原色とその補色、白のみを使用しています。透明色を薄層に重層させ、連作の中で重ね塗りの順を変えることにより、微妙に変化する色彩を作り出そうとしています。道具は、豚毛筆、叩筆、刷毛、ペインティングナイフを併用し、できる限り薄層に塗り重ねます。平滑な画面を求めるため、乾燥後、細かい耐水ペーパーで研磨します。こうして塗り重ねられた絵具層は 30~40層におよび、油絵具は乾燥に時間がかかるため、制作は 1年~1年半にわたります。

重ね塗りと研磨を繰り返しながら、鉱物とりわけ瑪瑙や翡翠、蛋白石など、内部に光を含んだような半透明の物質を想うことがあります。また表面の反射から、水面とそこに映り込んだ影などをイメージすることもあります。しかし私の絵画は自然物を模したのではなく、制作の過程で変化する画面から、自然を想起することがあるというまでです。

”Still Life” は「静物画」という意味ですが、この連作も具体的な対象を描いているわけではありません。使用する絵具や重ね塗りの方法も ”COLOR” と同じです。この連作は、コンポジション（構図）または画面分割そのものを主題としており、画面は幾何学的な構図法にしたがって組み立てられています。しかしたんなる色面構成にならないよう、絵具の重層により、非対象の中から浮かび上がる「存在」を描き出そうとしています。

(2024/11-12 iGallery DC 個展)

松嶋励路 MATSUSHIMA Reiji

略歴

1965年 東京に生まれる

1993年 東京藝術大学大学院美術研究科油画技法・材料専攻修士課程修了

個展

2024年 松嶋励路展 -COLOR- (08/10-18 ギャラリーいちょうの木 東京)

2023年 松嶋励路展 -COLOR- (09/18-23 藍画廊 東京)

2022年 松嶋励路展 -COLOR- (08/06-27 Gallery Amano 山梨)

2021年 松嶋励路展 -Color/Still Life- (10/28-11/14 iGallery DC 山梨)

2020年 松嶋励路展 -COLOR- (10/05-10 藍画廊 東京)

2019年 松嶋励路展 -COLOR- (08/03-24 Gallery Amano 山梨)

2018年 松嶋励路展 -COLOR- (11/12-17 藍画廊 東京)

2016年 松嶋励路展 -COLOR- (11/28-12/03 藍画廊 東京)

2014年 松嶋励路展 -COLOR- (11/17-22 藍画廊 東京)

2013年 松嶋励路展 -COLOR- (08/05-17 藍画廊 東京)

グループ展

2014年 「見ること・描くこと」－油画技法材料研究室とその周辺の作家たち
(01/06-19 東京藝術大学美術館)

2011年 第1回〈美術のプラクシス〉展 (04/26-05/01 山梨県立美術館)

2010年 ZONE 秘境 (03/27-30 談是芸術空間 上海)

第25回〈絵画のプラクシス〉展 (04/22-28 山梨県立美術館)

2009年 第24回〈絵画のプラクシス〉展 (04/11-17 山梨県立美術館)

2008年 第23回〈絵画のプラクシス〉展 (04/26-05/02 山梨県立美術館)